

1991年 9月18日(水)～10月30日(水)

寄贈品コーナー展示 **くらしと焼物**

— 博物館実習生による展示を公開中です —

■虫の声が目立ち始める季節、博物館には一年でいちばんにぎやかな一週間が訪れます。主役は、学芸員の資格を取得するための博物館実習を受講する大学生達です。

平塚市博物館の博物館実習では毎年、実習期間中のうち3日間を、実習生による寄贈品コーナーの展示制作に充てています。今年度の展示は「くらしと焼物」をテーマに作業が進められ、9月18日からみなさんにご覧いただくことになりました。

■展示制作にあたっては、まず担当学芸員から実習生に対して展示資料が提示されます。その資料を見て展示のテーマと構成を考えると、作業が始まります。20名余りの実習生が意志を統一するのはなかなか難しいようで、今年も例年どおり議論が右往左往する状態でしたが、学芸員の助けをかりてようやく意見のまとまりをみしました。

■実際の作業は、提示された展示資料の取捨選択や展示ケース内のレイアウトを行う「構成班」、解説パネルの原稿執筆からパネル製作を行う「解説班」、写真の撮影・焼付けからパネル製作を行う「写真班」、タイトルパネルやコーナーサイン、資料のラベルを製作する「ラベル班」に分かれて行われました。

■展示のデザイナーである構成班と、他の班の作業が同時進行するというのもあって、うまくはかどらない一幕もありましたが、予



定の17日午後3時には無事展示を完了するに至りました。ほとんどの実習生にとっては初めての展示作業であったようなので、資料を展示する過程を自分でたどってみたことは、貴重な体験になったことでしょう。

■完成した展示は、私たちのくらしと深い関わりのある焼物について、用途と歴史の2つの面からアプローチを試みています。昔懐かしい焼物の道具や、焼物の意外な使われかた、そして焼物についての豆知識など、とても身近な展示になりました。「文化の秋」の予定にぜひお書き添えを。

寄贈品コーナー展示

くらしと焼物

9月18日～10月30日